

ワークショップ開催等の 市民参加手法について

総務課地域コミュニティ室

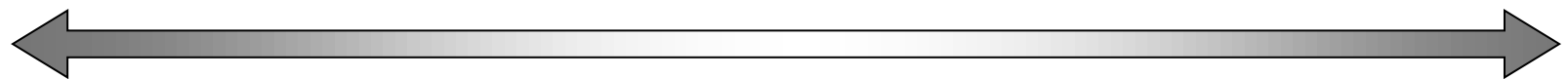
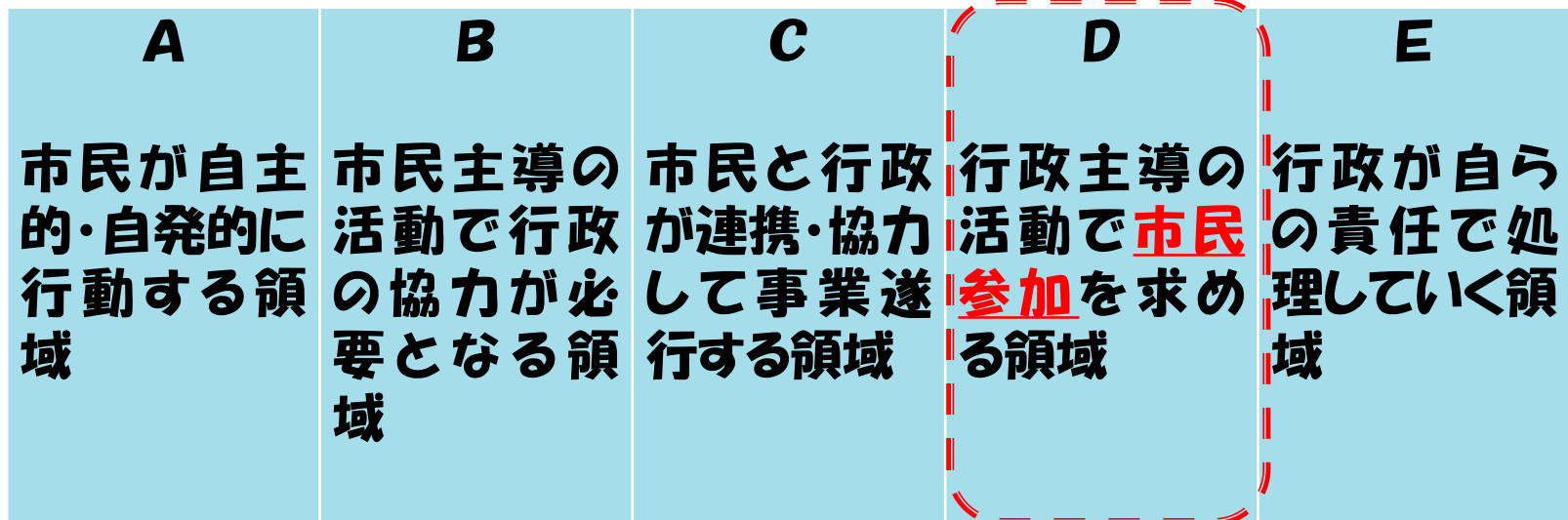
市民参加(参画)とは

○辞書での定義

	広辞苑	大辞林
参加	なかまになること 行事・会合などに加わること	会や団体など目的をもつ集まりの一員になること
参画	計画(の立案)に加わること	(政策や事業などの)計画に加わること

おさらい(古賀市共働推進の基本指針)

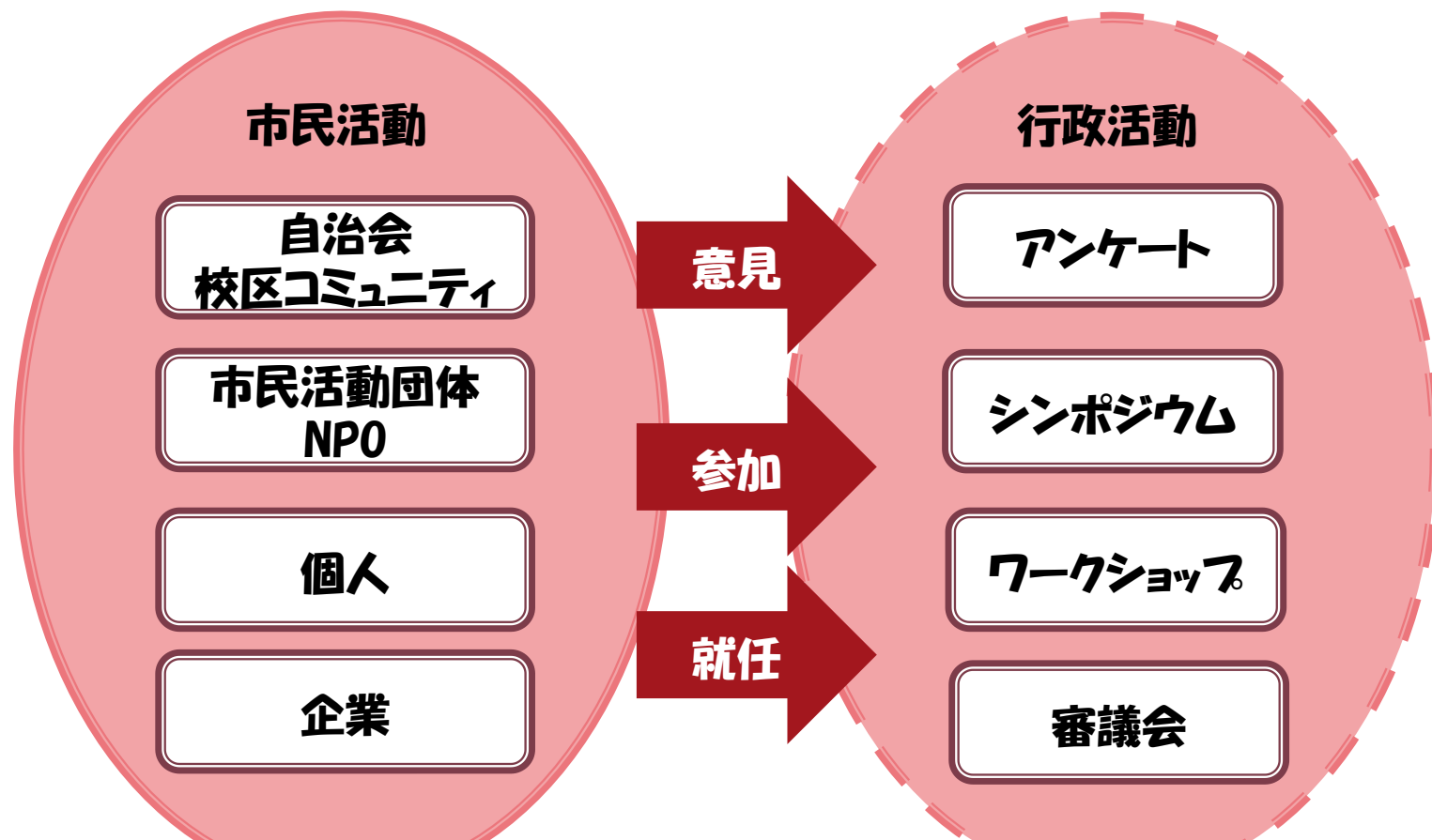
共働の領域



市民主導

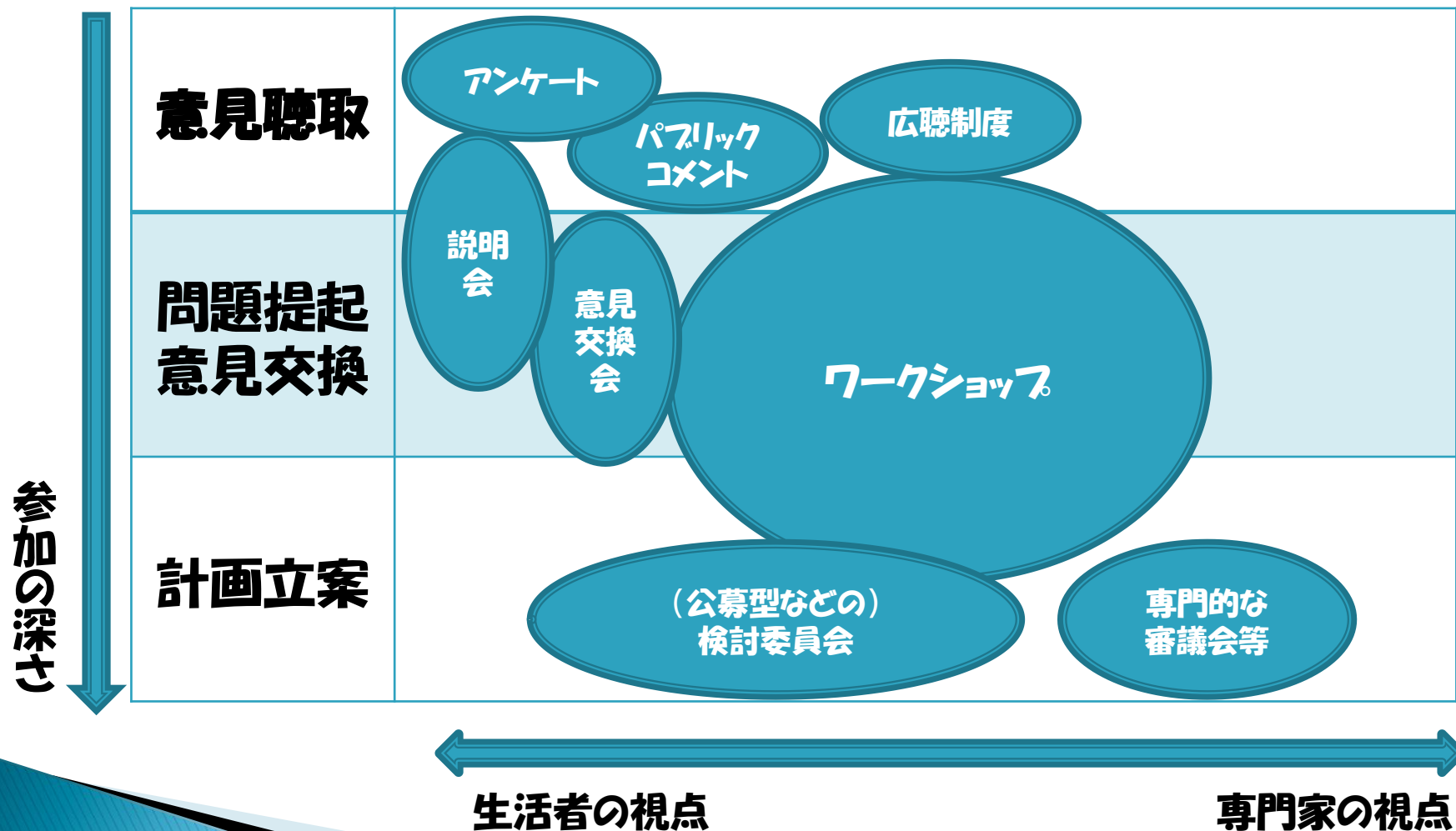
行政主導

市民参加(参画)とは②



市民参加(参画)は、行政が企画し実行するうえで、市民の意見や知識を反映させることに重点を置いている

様々な市民参加(参画)の手法



ワークショップとは

本来の意味は、「作業場」「工房」

住民参加型のまちづくりにおいて、自由に意見を出し合ったり、お互いの理解を深めたい、参加者の合意を得たいするために有効な技法として活用されている。

【近年開催された古賀市のワークショップ】

- ・大根川 川づくりワークショップ
- ・古賀みらいサマーミーティング
- ・千鳥校区防災訓練ワークショップ
- ・花見東公園(仮称)整備事業ワークショップ

大根川 川づくりワークショップ

市役所そばを流れる大根川を対象に、どのような川にするのか、どのように利用していくのかについて、市民の皆さんと一緒に考えるワークショップ

主催：古賀市

参加：福岡県（整備事業の主体）

九州大学（アドバイザー）

市民ワークショップ開催回数：9回

※ 今後は、ワークショップでの検討内容を踏まえ、福岡県が整備予定

大根川 川づくりワークショップの様子



古賀みらいサマーミーティング

古賀市自治基本条例(仮称)の内容を検討する過程で、より多くの市民の声を反映し、条例づくりを進めるために開催

主催:古賀市自治基本条例(仮称)策定委員会

参加:延べ302名

開催回数:8回(市内8小学校区で開催)

古賀みらいサマーミーティングの様子



←花見校区



古賀東校区→

千鳥校区防災訓練ワークショップ

千鳥小学校区内の住民を対象に、災害が発生した場合の避難経路や安全確保についてワークショップを開催

主催：千鳥校区コミュニティ・福岡県・古賀市

参加：地域住民(延べ200人以上)

開催回数：3回